

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 56,972人（前年度比 151.1%） ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、利用の自粛要請や新規の利用停止、夜間の利用自粛要請、カラオケを目的とした利用の自粛要請等を行った。 ・令和2年度 37,693人 ・令和元年度 132,273人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 198,533千円（192,965千円） ・その他市が負担した費用 195,780千円（99,445千円） 《収入》 ・使用料収入 18,457千円（12,999千円） ・その他収入 5,882千円（3,957千円）	
	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施（令和4年1月16日～令和4年2月6日） ・「ご意見箱」の設置（通年）	

()は前年度決算額

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、劇場やホールに求められる事業として地域貢献型・社会包括型事業に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながらではあるが、自主事業を通して、地域団体との連携や地域住民の自主的な活動への支援を超えた地域貢献を果たしている。	27/24
II 施設の運営管理体制	職員が日常、定期的に館内を巡回し事故等を未然に防止するよう努め、度重なる地震に対しても、配備体制に基づき迅速な対応を行った。施設内の不具合箇所を発見した際は防災センターと連携し、速やかに改善作業を実施している。また、併設施設と合同で消防訓練を実施することにより、緊急時の避難誘導に係る連携体制の強化に努めている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	併設施設と協力してごみの減量化に努めるとともに、業者を通して廃プラスチックや古紙のリサイクル処理を行い、ごみの再生利用の推進に努めている。また、昼間の時間帯には、事務室の受付カウンター部分を除いたエリアを消灯し節電にも努めている。	21/21
IV サービスの質の向上	総合受付カウンターに案内担当を配置し、併設施設を含めた複合施設全体の利用者への案内・相談を実施している。YouTubeに動画を投稿し、施設の紹介やイベントの紹介について、よりわかりやすく情報発信を行った。	28/28
V 施設固有の基準	これまでの施設管理の経験を活かしながら管理規約や関連法令等を把握し、たいはつくる管理組合や併設施設との連絡調整に努めている。また、市民センター主催の「ながまち交流フェスタ」では実行委員の一員として参加するなど、併設施設の事業への協力を相互に行っている。	7/7

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>〔施設の使用許可等について〕</p> <p>条例などの規定を遵守するとともに、市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、施設の使用許可にあたっては公平・公正な取り扱いを行いました。新型コロナウイルス禍においては、取消料の無償化等が導入され、還付処理など適正に収納事務を行いました。</p> <p>〔施設の維持管理等について〕</p> <p>お客様に安全かつ快適にご利用いただけるように、日頃から施設の見回りや設備の点検を行い、危険個所の早期発見に努め、不備がある場合は速やかな修繕を行い事故等の未然防止に努めました。令和3年度は、破損したブラインドのロールカーテン化や、展示ホールの椅子をクリーニングする等美観の維持を図るとともに、避難口誘導灯や照明器具の交換等日常的に発生する故障に即時対応しました。また、3階トイレの一部をウォッシュレットタイプの洋式便座に交換し、お客様ニーズに応えました。3月に発生した地震時には窓ガラス等、故障個所を迅速に点検修繕しました。施工にあたり、仙台市、工事業者との連絡調整を綿密に行い、施設利用のお客様へ影響が最小限になるよう努めました。</p> <p>〔自主事業の実施について〕</p> <p>令和3年度は、（公財）仙台ひと・まち交流財団設立30周年を記念して、地域の更なる文化芸術の振興を目指し、地元出身のプロ奏者と連携して区内中学校吹奏楽部へのミュージッククリニックとコンサート「長町からJazzに触れる・クリニック&コンサート」を開催しました。また、障がい者支援団体等と協力し、「楽楽楽文化祭2022」を開催しました。障がい者や乳幼児親子など幅広いお客様に、気軽に多様な文化芸術を体感していただくことを目的に、体験ワークショップ「アートで楽楽楽」、コンサート「春の響きコンサート」、授産施設等が来店した「マルシェ」を実施しました。さらに、地域団体の活動成果発表の場として、「楽楽楽ステージパフォーマンス」も開催しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p><施設の運営管理について></p> <p>当施設は、図書館や中央市民センター、児童館のほか商業施設や高層住宅棟が一体となっている本市唯一の複合施設であり、管理方法が複雑であるほか部屋数及び利用者数が多い。職員会議等において各担当の業務状況や窓口対応状況を互いに共有したり、事故防止策に関する研修を実施、受講したりするなど、適切な運営管理に努めている。</p> <p><施設の維持管理・安全管理について></p> <p>業者による見回りや定期点検の他に、職員が日常的な目視点検を実施しており、不具合の早期発見による施設の維持管理に努めている。</p> <p><自主事業について></p> <p>鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、地域貢献型・社会包括型事業に取り組んでいる。太白区を拠点として活動している団体等と協力し、地域住民のみならず障害者や乳幼児親子など誰もが気軽に多様な文化芸術に親しんで体感することを目的とした自主事業「楽楽楽文化祭2022」を新型コロナウイルス感染症の対策を十分に実施しながら開催した。</p> <p><併設施設との連携について></p> <p>当施設は公共・商業・住宅が一体となった大規模な複合施設であるため、建物に共用設備（受変電や給排水等）が多く含まれている。共有部分や公共施設部分で発生する様々な設備・運営管理に関する問題を「たいはっくる管理組合」と情報共有し、問題解決に向け日常的に協議し、改善に向けた取組を行っている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の対応にあたっては、「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドライン」の計13回の改訂に沿って、1年間で319件（文化センター：194件、市民センター125件）の利用取消処理及びそれに付随する入金済使用料の還付処理を行った。ホール使用料減免の取り扱いにあたっては、573件の処理を適切に行った。</p> <p>また、緊急事態宣言発令時には、個別に利用自粛をお願いする連絡をし、利用受付再開時には、大量の予約を公平に受付できるように抽選の準備や職員体制を事前に整える等、工夫をして対応した。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：太白区まちづくり推進部まちづくり推進課